

平成28年4月発売予定

# ICD-10(2013年版) 疾病、傷害及び死因の統計分類提要



従来の2003年版準拠が、  
2013年版準拠に改正され、  
平成28年1月から適用！！

◆診療情報管理業務に！

◆DPC制度の運用に！

※ご注意

新版(2013年版)は、総論と内容例示表  
の巻が入れ替わりました！！

第1巻	内容例示表	本体8,000円+税	A5版	1,248頁
第2巻	総論	本体6,000円+税	A5版	248頁
第3巻	索引表	本体9,000円+税	A5版	1,166頁

※第1巻、第2巻は平成28年4月発売予定

※第3巻につきましては、平成28年7月発売予定

※ページ数は予定です

◎ご注文は最寄りの書店・全国の官報販売所をご利用ください◎

✂キリトリ線

✂キリトリ線

平成 年 月 日

発行	一般財団法人 厚生労働統計協会		
書名	ICD-10 2013年版準拠 疾病、傷害及び死因の統計分類提要		○番線印
	第1巻 内容例示表 ISBN978-4-87511-674-5	販売価格 本体8,000円+税	冊
	第2巻 総論 ISBN978-4-87511-675-2	販売価格 本体6,000円+税	冊
	第3巻 索引表 ISBN978-4-87511-676-9	販売価格 本体9,000円+税	冊
事業所名			
ご住所	〒		
お名前			
ご連絡先	TEL :	FAX :	

※個人情報の取り扱いについて／ご記入いただいた個人情報は、商品の発送、サービスの提供に使用させていただくほか、当社がおすすめする他の商品・サービスのご案内に使用させていただく場合がございます。また、登録情報は厳重に管理し、第三者に開示することは一切ございません。

## ● ICD-10 (2013年版) の主な変更点

WHO 勧告に基づく改正	コードの削除	50
	コードの新設	185
	コード名の変更	121
その他 (用語の適正化等)		545

### 1. WHO 勧告に基づく改正

#### (1) 新たな疾病概念の確立や疾病概念の変更に伴う項目の新設・組み換え・細分化

- ①白血球、リンパ腫 (C81-C96) : 疾病概念を整理し、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫に大別し、更に濾胞性、非濾胞性、T/NK 細胞性等を区分するとともに、白血球についても細分化。
- ②ポリオ後症候群 (G14) : ポリオの続発・後遺症 (B91) とは別概念と整理され、項目を新設したもの。
- ③視覚障害 (H54) : 国際眼科学会理事会決議や WHO 勧告に基づく重症度の分類に従い、細分項目を整理し直したもの。
- ④ヒト・メタニューモウイルス : 従来 ICD 上は特定の分類が設けられていなかったが、「J12.3 ヒト・メタニューモウイルス肺炎」「J21.1 ヒト・メタニューモウイルスによる急性細気管支炎」を新設したもの。
- ⑤痔核 : 循環器系 (I84) から消化器系 (K64) へ移動し、病期別分類を導入。
- ⑥腎不全 (N17-N19) : 急性腎不全と慢性腎臓病の概念整理を行い、後者について病期別分類を導入。
- ⑦薬剤耐性の病原体 (U80-U85) : 耐性を示す薬剤をベータラクタム系とその他の抗生物質、抗菌薬、抗腫瘍薬に整理し、より詳細に細分。

#### (2) 医学の進歩や臨床での活用に対応した名称の変更、細分等

- ①西ナイル熱→西ナイルウイルス感染症 (A92.3)
- ②インスリン依存性糖尿病 < IDDM > → 1 型 < インスリン依存性 > 糖尿病 < IDDM > (E10)
- ③インスリン非依存性糖尿病 < NIDDM > → 2 型 < インスリン非依存性 > 糖尿病 < NIDDM > (E11)
- ④イートン・ランバート症候群→ランバート・イートン症候群 (G73.1)
- ⑤ディスペプシア→機能性ディスペプシア (K30)
- ⑥腹壁ヘルニア (K43) : 腹壁ヘルニアを癒痕ヘルニア、傍ストーマヘルニア、その他の腹壁ヘルニアに細分
- ⑦急性膵炎 (K85) : 特発性、胆石性、アルコール性等、原因による細分を導入
- ⑧皮膚疾患 (L89) : 病期別分類を導入し細分化
- ⑨産科的死亡 (O60、O96、O97) : 周産期別、原因別の細分を導入
- ⑩地震による受傷 (X34) : 地殻変動、津波など原因をより細分化

#### (3) 統計上の必要性から新設等されたもの

- ①敗血症性ショック (R57.2) : 原死因選択において敗血症 (A41.9) と区別する必要からコードを新設したもの
- ②エマージェンシーコード (U06-U07)

### 2. 日本医学会が定める用語に基づく用語適正化等

#### ①「レンサ球菌」→「連鎖球菌」

例：レンサ球菌性敗血症→連鎖球菌性敗血症 (A40)

#### ②カリニ肺炎を起こした HIV 病→ニューモシスチス・イロベチ肺炎を起こした HIV 病 (B20.6)

#### ③「新生物」→「新生物<腫瘍>」

例：口唇の悪性新生物→口唇の悪性新生物<腫瘍> (C00)

#### ④のう<嚢>胞線維症<システィックファイブローシス>→のう<嚢>胞線維症 (E84 等)

#### ⑤その他、「ウイルス」→「ウイルス性」(例：ウイルス性肝炎)、「たんぱく」→「タンパク」

(例：リポタンパク欠乏症)、「靱」→「靱」(例：靱帯の障害) 他多数

※山括弧<>は、代替可能な用語を意味する。